

# 布団圧縮包装、3人作業が1人に 助成金活用、暑い作業場での重労働なくす

四国3県でクリーニングチェーンを展開するヤングドライグループ・(株)ヤングドライ新居浜（本社・愛媛県新居浜市、永田真一代表取締役社長）では、業務改善のための設備として(株)日本シーリングの布団・毛布圧縮機付きシール機「SF-95A」をグループ3工場に導入。これまで人手がかかり、かつ重労働だった布団の圧縮包装作業を機械化して業務を効率化している。コロナ禍の事業継承を契機として社内の変革、事業の再構築を進める同社を訪問し、永田社長に話を伺った。

## 布団クリーニング、3年前に内製化

ヤングドライグループ（有）永田化学）は昭和45年、先代社長で創業者の永田光春氏（現・相談役）が愛媛県新居浜市にて創業。その後は営業エリアを拡げながら事業を拡大し、ピークには200店舗を超える規模にまで成長。コロナ禍には取次店の廃業があったほか、旧店舗を統合して新店舗を作る取り組みもあり店舗数は約半分にまで減少したものの、事業再構築の効果もあって売上は回復基調にあるという。

一般衣類のクリーニング需要が縮小傾向にある中、同社では「何でも洗えるクリーニング屋さんになろう」と、ベビーカー、剣道防具のクリーニングなどメニューを拡大。また、法人需要にも目を向け、介護施設の私物洗濯、寝具店から入荷する枕、さらにホテルのゲストランドリーも始めている。とくに私物洗濯は開始から2年で軌道に乗っているという。



永田真一社長



◀ 助成金を活用して導入したふとん・毛布圧縮機付きシール機「SF-95A」。機械化により生産性を高め、暑い作業場での労働負担を解消した

布団クリーニングについては、これまでこたつ布団と毛布は自社で処理して、羽毛や綿の布団などは外注としていたが、3年前から綿を除いた布団類を内製化した。

布団は、店舗での受注のほか、ゲストランドリーで取引するビジネスホテルからも羽毛布団のクリーニングの依頼があるといい、現在は劣化した羽毛を復活させるアンチエイジ加工をメニュー化して布団洗いに力を入れている。また、布団の乾燥室は工場3階にあるほか、1階には太陽熱を活かしたビニールハウス型のECO乾燥室も設けている。



▲工場1階のクリーニング仕上げ工程



◀▲これまで2人で上から押して脱気していた作業が1人で簡単にできるようになった。1枚当たり約20秒で完了

## 業務改善助成金を活用して3台導入

同社ではこのところ、補助金等を活用しながらの設備投資を積極的に行っており、私物洗濯を始める際は、事業再構築補助金により老朽化した工場のリニューアルを含めて実行。IT導入補助金では、キャッシュレス化のシステムを導入した。今回の布団圧縮包装の設備でも、業務改善とキャリアアップ支援の助成金を活用している。

布団の圧縮包装は、配送効率を考えて以前から行っていたが、作業は手作業だったという。永田社長は、「従来の作業は、洗って乾燥した布団や毛布を圧縮袋に入れ、2人が上から押さえながら1人が吸引機で空気を抜いて圧縮していた。作業に3人必要だったのに加え、1枚包装するのにけっこう時間がかかっていた」と語る。

これを効率化できる機械はないかと探していたところ、



地元機材商の展示会で日本シーリングの布団・毛布圧縮機能付きシール機「SF-95A」を見て、3工場に1

▲▶ピットハウスのような形状の1階乾燥室。太陽熱を活かして乾燥を行う



台ずつ導入を決めた。

## 運搬費・人件費削減などの導入効果

「SF-95A」は、大きな布団や複数枚の毛布などを簡単に脱気し、かさばる商品をコンパクトに包装できる機械。

操作は、袋に入れた布団を機械の横側からセット、袋の端がヒーターより手前に出ていることを確認し、フットスイッチを踏むと、上からプレス板が下降し、布団を均一にプレスしながら脱気。布団が圧縮された状態で、左右のスイッチを同時に押してシールカットするもの。処理能力は、時間あたり180枚（袋入れの時間除く）。

電源は100Vなので場所を選ばず、キャスター付で設置後の移動も簡単にできる。シール幅は950mm、ヒーターは2重シールで、シール箇所が開かないように圧着できる。寸法は、幅1,200×奥行1,720×高2,060mm。

他社の導入事例として、以下のような効果が挙げられる。

〈病院寝具〉ベッドパッド4,000枚を運搬する場合、トラック1台にカゴ台車に100枚×8台を積載し、5台



▲3階の乾燥室。ここに圧縮包装機を設置している



▲コンパクトに圧縮包装された毛布・布団類



▲配送車にも多くの布団を積めるようになった



▲手作業に比べしっかりと空気に抜けるようになった

を要したものが、30%の圧縮効果で130枚×8台が積載可能となり、トラック1台を削減。トラックの維持費、委託費、ドライバーの件費削減につながっている。

〈宅配クリーニング〉カゴ台車への積載量が約2倍になり、スペースの確保につながっている。集配袋のサイズダウンにより、運送費が約45%削減できた。

〈包装資材〉真空パック用の袋と比較して低価格の袋が使用でき、月2,000枚使用で約400,000円から62,000円と月間84%の経費を削減。また、真空包装機の1回の包装時間約90秒に対し、約20秒となり約70秒短縮。月間2,000枚で38時間の短縮となる。

〈脱気の持続と復元〉こたつ布団の場合、4ヵ月経過して約15%の空気の戻りを確認するも、その後は状態を保持し、変化なく6ヵ月経過。また、空気を一部残して脱気包装しているため、復元が早く、しわもつきにくい。6ヶ月後、手で袋を破くとすぐに空気が戻りふくらみ始め、全体を広げ軽くたたくと、開封から20秒後には包装前の風合いに近づく。

## 機械化により1人作業が可能に

導入から1ヵ月が経過した同社。その導入効果について永田社長は「3人で行っていた包装作業が1人でできるようになったほか、生産性も格段にアップして、業務改善につながった。それから、圧縮作業を行うのは布団

の乾燥室で、ここは乾燥効率を高めるため工場の排熱が集まるようにしているため、とにかく暑い。とくに冬物の毛布や布団が多く出てくるのは暑くなる時季なので、包装作業は余計にきつかった。かなりの重労働になってしまっていたが、機械化によりその作業負担を軽減することができた」という。

また、手作業の際は、手で押しでもどうしても空気が戻ってしまっていたが、機械では均等に圧をかけてしっかりと空気が抜けて圧縮できているほか、集配車への積載量もアップしたという。

## 新たに理念掲げた経営、社員にも夢を

永田社長が事業を継承して4年。「出逢いが自分らしさを磨く」という理念を新たに掲げ、ミッションやビジョンを全社員に浸透させた経営を行う。お客様のために皆が同じ方向を向いて前進することで、良い人材も育ててきているという。

その一環として永田社長は、社員に「夢を持つこと」を求めている。大きな夢でも小さなものでも、何かの目標に向かって突っ走ってほしいとする。

永田社長自身、夢としてあるのが「海外への出店」だという。「県外に行くくらいなら海外に行きたい。だから幹部社員を毎年、順番に海外に連れて行って、現地のクリーニング店を見学したりして、会社が海外に目を向けていることを伝えている。もちろん、それはまだ先にある夢として、今後も経営の建て直しに取り組んでいきたい」と語った。



▲詳しくはこちら

※製品に関する問合せやショールーム見学、商品テストの申込みは、TEL048-758-4422 まで。ホームページでは、デモ運転動画を公開中（左のQRコードからも視聴可能）。<https://nihon-sealing.com>

# かさばる布団・毛布を圧縮包装

布団・毛布圧縮機能付きシール機

## SF-95A

簡単・スピーディーに脱気  
人件費と運搬費を削減!



SF-95A動画



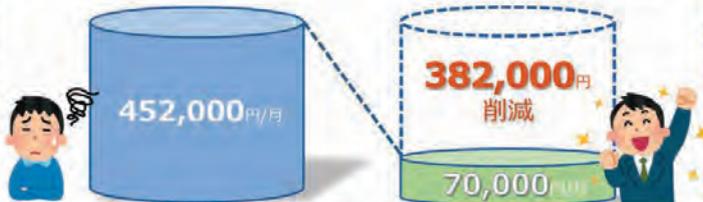
[SF-95A] 経費削減例：資材・時間編

“**資材**”も“**時間**”も削減効果あり!

### 包装資材

真空単袋  
厚み0.07×幅800×長さ1200mm  
単価：226円

HD単袋（半透明袋）  
厚み0.018×幅900×長さ1200mm  
単価：35円



※1日100枚使用/月20日稼働：月間2,000枚使用で算出

月間84%の経費削減!

### 1回の包装時間



月間2,000枚で38時間の時短!

※商品を入れて入れる時間を除く、1回の機械動作時間

### 1. 汎用の包装資材でコスト低減

真空包装機のような専用の袋は不要。安価な汎用の袋によりコストカット

### 2. シンプルな操作で包装時間を大幅削減

1回の作業時間は20秒。真空包装機の約90秒に対し大幅な時短に

### 3. 運送コストを大幅削減

圧縮効果で積載が増え運送コストを削減。宅配クリーニングの送料も約半額に

### 4. 復元が早く、シワもつきにくい

空気を一部残すため、開封後はすぐに膨らみシワも少ない

### 常設展示 ルーム

実機で性能をお確かめください



製造・販売元 <https://nihon-sealing.com>

株式会社 日本シーリング

〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉1-5-8

Tel:048-758-4422(代表) Fax:048-758-4426